

ATC 施設利用・共同開発研究 成果報告書

国立天文台先端技術センター センター長 野口卓 殿

下記のとおり施設利用の成果を報告します。

ふりがな： なるせ まさと 代表者氏名： 成瀬 雅人	③所属機関，部局： 埼玉大学 大学院理工学研究科
研究課題名：ミリ波・サブミリ波分光カメラのデバイス作製	
利用期間：H 28年 4月 1日 ～ H 29年 3月 31日	
利用者リスト 成瀬雅人、伊藤和雅、増田聖	
研究開発の成果（ATC 施設利用との関連を具体的に記述してください。） ATC のクリーンルームを利用して頂きホーン結合型偏波分離ミリ波カメラのデバイスを作製した。関本准教授、筑波大学 新田助教らとともに希釈冷凍機・ミリ波発信源等を使用して、光学応答及び偏波特性、ビームパターンの取得に成功した。	
施設利用が謝辞等に記された学術論文など（資料を添付してください。） 特に無し	
先端技術センターの利用設備・実験室等の利用した物品を具体的に記入してください。マシンショップへ依頼したリスト・利用した測定器・CAD 等について記入してください。） ・クリーンルーム（分子線エピタキシー装置、i 線ステッパ、スパッタ装置、RIE 装置、ドラフトチャンバ、乾燥窒素） ・ダイサー ・0.1 K 希釈冷凍機 ミリ波発信源	
先端技術センターの施設への要望等ありましたら、記入してください。 いつも施設を利用して頂き誠に感謝しております。予算の関係上、大学の研究室レベルでクリーンルームを維持することは困難になってきておりますので、ATC にあるクリーンルームを使用させて頂く機会が今後ますます増えていくと予想されます。さらに ATC のように最先端の機器が揃ったクリーンルームの利用は、我々のグループの研究にとって生命線となりますので、多大な労力をおかけすることになってしまいますが、今後とも現在以上の水準で維持・管理がされていくようお願い申し上げます。	